

令和3年度第3回学校関係者評価委員会報告並びに
信頼されるための学校づくり委員会報告

令和4年1月24日実施

1 学校関係者評価委員

(敬称略)

評価委員	所属等	出欠
今徳かおり	南薩地域振興局農政普及課 課長	○
神田良文	南さつま市立万世中学校 校長	欠席
上拂欽一	社会福祉法人博楽福祉會 特別養護老人ホーム和顔施管理者	欠席
吉永賢三	同窓会副幹事長	○
馬場晶子	P T A会長	代理(P T A 副会長)

学校評価委員会

校長・教頭・事務長・津留・山下・朽木・赤池・西垂水・中原

2 意見交換内容内容（信頼される学校づくり委員会の内容も含む）

学校評価委員からの質問・意見

- ・目標をもてない生徒が多いと聞いて、目的意識をもたせることは難しいだろうと感じた。意欲をもつことができる取組について検討をしてほしい。
- ・進路未決定の生徒はどちらの学科であるか。
- ・不本意入学となってしまう生徒が今年度も在籍しているのか。
- ・常潤高校だけでなく、普通科の高校や大学生等でも意欲的ではない生徒・学生もいる。専門性の高い学習を通して、自分にとっての得意なことを見つければ学習意欲の向上につながるのではないか。
- ・歯科治療の受診率の向上等については、生徒や家庭に対するインセンティブを付けて行く方法もあるのではないか。
- ・インナーについては、中学校でも課題になっている。時代に合わせて変えていく必要もある。
- ・スマートフォンやSNSについては、学校や地域、保護者との連携が不可欠になる。
- ・制服の変更については、ジェンダー等に配慮していきながら「ルールで縛る」ことが必要なのか検討が必要な時期にきているのではないか。
- ・「生理の貧困」について、現状はどうなっているのか。
- ・保護者目線としては、様々なことに取り組みせてもらいたい。
- ・学校生徒数の確保が必要
- ・食農プロデュース科の学習を生かした進路が少ない。
- ・食品製造部門等だけでなく、農業に就く生徒が増えるような学習内容にしてもらえれば良いと考える。学生の進路を含めた学習活動への参加・連携する機会や日頃の学生の態度を見る機会が無く、農政普及課としての意見を出しにくい。
- ・生活福祉科の記事が新聞に記載されることが少ない。
- ・中学校と高校の情報共有が不足しているように感じる。私立高校は頻繁に中学校には卒業生の情報を教えてくれる。